



Save the Children

発行元：公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F

Q クイズ

ヒントは新聞の中に!?
読んで答えを見つけよう!

○に入ることを考えよう

11月20日は世界〇〇〇の日です
子どもの権利条約が採択されました

セーブ・ザ・チルドレン ニュース

子どもの権利って なんだろう?



© Oleksandr Khomenko / Save the Children

「子どもの権利」という言葉を聞いたことはありますか?

「子どもの権利」は、すべての子どもたちが健やかに、自分らしく育つために必要な「当たり前のこと」です。私たちセーブ・ザ・チルドレンは、世界中の子どもたちの「当たり前のこと」を守るために、日々活動しています。

能登半島地震緊急子ども支援



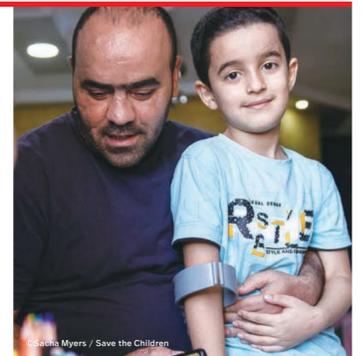
「ひなん所でなぜ遊びが必要なのか」と聞かれることがあります。
遊びは子どもの知的・社会的な発達、こころや体の発達に不可欠で、災害だからといって子どもの成長を止めることはできません。
また、安心してふだんに近い活動ができることで、逆境から立ち直る力(レジリエンス)を強め、こころと体の健康をたもつことに役立ちます。

パレスチナ・ガザ地区での人道危機 緊急子ども支援

2023年10月に発生したパレスチナ・ガザ地区とイスラエルとの間の武力衝突から約1年。ガザ地区では少なくとも1万4,100人以上、西岸地区では147人、イスラエルでは33人の子どもたちが命を落としました。(2024年7月末時点)

爆弾で重傷を負ったラミさんのストーリー

ラミさん(7才)は爆撃により手と足に傷を負いました。顔と頭にひどい傷を負った父は、ガザ地区の病院で麻酔なしで40~50針ぬきました。
「手術室には、パンを買うために列をなすように、手術を受けるために人びとが列をなしていた」と話します。
ラミさんとその家族は、セーブ・ザ・チルドレンのサポートでカイロの病院にうつり、治療と歩行器の提供などの支援を受けています。



数字で見る

能登半島地震支援活動

2024年1月~2024年7月15日時点の実績

緊急子ども用キットなどの提供

のべ
793
人



備品支援

32ヶ所
3,084人



給食補食支援

33ヶ所
2,615人
のべ30,934食



「こどもひろば」実施

19回
のべ
200人



屋外での「子どもの遊び場」実施

11回
のべ
393人



給食簡易食器(使い捨て食器)支援

11ヶ所
826人



「子どものためのPFA」研修

6回
のべ
623人



ご協力ありがとうございます

能登半島地震 緊急子ども支援へのご寄付

合計**2億4,697万7,232円**(2024年7月15日現在)

ひ災地の小中高生世代
2,053人から声が届きました

2024年能登半島地震子どもアンケート
~震災から半年 いま伝えたい子どもたちの声~はこちら



参加しよう!子どもの権利条約フォーラム 2024 in 東京

11月20日の世界子どもの日にあわせ、東京都豊島区の立教大学池袋キャンパスで「子どもの権利条約フォーラム 2024 in 東京」が開かれます。子どもの権利についていっしょに考えてみませんか?

日程 11月 9日(土)【オープニングセッション、全体会】
11月10日(日)【分科会、全体クロージングセッション】

くわしくは
こちら



募金活動用ポスターがリニューアルしました!

学校での募金活動や文化祭でのチャリティイベントなどで、使えるポスターが新しくなりました。こちらからお申し込みください▼

セーブ・ザ・チルドレンHP「学校・市民グループの皆さまへ」
<https://www.savechildren.or.jp/lp/community/>



Save the Children

セーブ・ザ・チルドレンは、
子どもの権利のパイオニアとして、
100年の歴史を持つ、
子ども支援専門の国際NGOです。

SCJ.SavetheChildrenJapan

scjapan

savethechildren_japan

SaveTheChildrenJpn

www.savechildren.or.jp

セーブザチルドレン 検索



子どもの声が、
世界を、
変える。